

懇談会「トランプ 2.0 における外交の展望」を開催

2025 年 2 月 14 日（金）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、懇談会「トランプ 2.0 における外交の展望」を開催いたしました。

本懇談会では、朝鮮大学校の招聘教授である鄭己烈先生をお招きし、2025 年 1 月に始動した第二次トランプ政権の外交戦略の展望について議論しました。懇談会では米中対立やガザ地区の紛争、ロシアのウクライナ侵攻など、極度に不安定な国際情勢において、米国第一主義を掲げるトランプ大統領の覇権国家としての戦略についてご報告いただきました。

今後 4 年間のトランプ政権の外交戦略について、国連の一部機関からの脱退を目指すだろうことが提起され、国際社会に与える影響や朝鮮半島を中心とする東アジア諸国の対応について、質疑応答を交えながら活発な議論が行われました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2025 年 2 月 14 日（金）17:00-18:00

会場 立命館大学衣笠キャンパス 学而館研究会室 3

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

●参加者

中戸祐夫（立命館大学東アジア平和協力研究センター センター長）

文京洙（立命館大学国際関係学部 名誉教授）

崔正勲（立命館大学 客員准教授）

宋基栄（立命館大学 講師）

張瑛周（立命館大学東アジア平和協力研究センター 客員助教）

当日の写真

